



社協だより



令和6年4月1発行
第147号

～つながり つなげる 笑顔のまちづくり～

共同募金配分金、社協会費等で作成しています

石川県七尾市災害ボランティアセンターに 職員派遣を行いました



令和6年1月1日、「令和6年能登半島地震」が発生し、甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方のご冥福と、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

「何かしらの支援をしたい」「我が家でも正月に親戚一同が集まっていた。人事ではない」と市社協にも多くの義援金の申し入れや、企業等から募金箱の貸し出しについて依頼がありました。(2月29日時点で、6,579,543円の募金をいただいております。)

また、市社協でも、2月1日(木)～2月7日(水)に1名の職員派遣を行い、石川県の七尾市にて災害支援を行いました。

3月2日(土)には、城陽市災害ボランティアセンター推進協議会研修会及び訓練を、京都府立木津川運動公園にて行い、災害時の動きについての情報共有をさせていただきました。災害時に被害を最小限にとどめるには「自助」「共助」「公助」の連携や共同が重要です。これからも助け合いの仕組みづくりを進めていきます。

主な記事内容

- 第45回城陽市社会福祉大会
表彰者報告 2
- 第18回
児童生徒の福祉作文作品の紹介
..... 3、4
- シリーズ城陽市社協ってなに?
【ちよい♡サポ】について 5
- 令和5年度団体・法人会員のご紹介、陽太くん似顔絵募集、
寄付のお礼 6



社会福祉法人 ふれあいネットワーク
城陽市社会福祉協議会

城陽市寺田東ノ口17 城陽市立福祉センター1F
TEL 0774(56)0909 FAX 0774(56)2800
<http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>

城陽市社協



※イベント情報や職員募集など
掲載中です。



城陽市社協HP



城陽市社協MAP



2月10日 第45回 城陽市社会福祉大会を行いました

※順不同・敬称略、()内は推薦団体

1 城陽市長表彰(10名)

●社会福祉事業功労者(10名)

岩崎 富美枝 (久津川校区社協)	語堂 辰文 (深谷校区社協)
奥村 君子 (深谷校区社協)	梶村 健 (深谷校区社協)
新 定子 (寺田校区社協)	大井川 一彦 (寺田校区社協)
梅川 敬子 (寺田校区社協)	西岡 裕 (寺田校区社協)
熊谷 佐和美 (青谷校区社協)	伊庭 顕夫 (市社協)



2 城陽市社会福祉協議会会長表彰(46名)

●社会福祉事業功労者(45名)

窪田 美佐子 (久津川校区社協)	上田 弘枝 (久津川校区社協)	竹中 千春 (深谷校区社協)
境 克代 (寺田校区社協)	松本 雅勇 (寺田校区社協)	竹村 いさを (寺田校区社協)
樽石 一秋 (寺田校区社協)	出野 壯 (寺田校区社協)	高本 泉 (寺田校区社協)
梅川 晴代 (寺田校区社協)	久保 典孝 (寺田校区社協)	野中 健市 (青谷校区社協)
大野 光恵 (青谷校区社協)	宮内 理栄子 (清仁福祉会)	田中 廣子 (清仁福祉会)
山下 有里 (清仁福祉会)	寺田 陽平 (清仁福祉会)	生駒 晴子 (清仁福祉会)
近藤 舞耶 (清仁福祉会)	齊藤 暢子 (清仁福祉会)	上辻 智美 (清仁福祉会)
澤田 八千代 (清仁福祉会)	宮崎 知子 (清仁福祉会)	佐野 文子 (清仁福祉会)
高月 茂美 (清仁福祉会)	辻崎 久美子 (清仁福祉会)	則枝 勝也 (府立心障センター)
福井 寿之 (府立心障センター)	藤田 美奈子 (府立心障センター)	藤本 瑞希 (和光会)
村田 由美子 (京都悠仁福祉会)	青木 喜久子 (京都悠仁福祉会)	土田 久美子 (京都悠仁福祉会)
堤 宣隆 (京都悠仁福祉会)	竹内 仁 (みんななかま)	南村 美佐子 (V連協)
黒川 富美子 (V連協)	南村 よし子 (V連協)	石原 章子 (市社協)
内館 富貴子 (深谷校区社協)	多田 幸子 (深谷校区社協)	南條 ミヨ子 (深谷校区社協)
匿名 3名		

●民生委員・児童委員功労者(1名)

田村 公伸 (民児協(寺田西))

3 城陽市社会福祉協議会会長感謝状(23名 21団体)

●社会福祉事業奉仕者 個人(21名)

坂本 禮子 (久世校区社協)	吉岡 康智 (久世校区社協)	杉江 義枝 (深谷校区社協)
田畑 直幸 (寺田南校区社協)	永田 博 (寺田南校区社協)	木村 泰子 (今池校区社協)
橋本 秀明 (今池校区社協)	木村 富貴子 (今池校区社協)	森 浩美 (今池校区社協)
赤塚 清美 (今池校区社協)	塚脇 節子 (青谷校区社協)	古川 恵理子 (青谷校区社協)
辻井 克実 (青谷校区社協)	影山 雅夫 (青谷校区社協)	小林 光子 (V連協)
森安 紀子 (V連協)	曾篠 眞知子 (V連協)	金見 裕子 (V連協)
宮川 純子 (V連協)	神内 陽子 (深谷校区社協)	匿名 1名

●社会福祉事業奉仕者 団体(18団体)

嫁付団地自治会	東大將軍自治会	芝ヶ丘自治会	つつじヶ丘自治会
友が丘自治会	宮ノ谷自治会	市ノ久保第二自治会	鴻ノ巣台自治会
アルカディーナ城陽自治会	北西自治会	中東自治会	芝自治会
島の宮住宅自治会	水主自治会	西ノ口大三戸自治会	長池友が丘自治会
南清水自治会	五島自治会		

●社会福祉事業奉仕者 大口寄付(2名 3団体)

木田慶子 鈴鹿 義弘 京都城陽ロータリークラブ 全京都建築労働組合 洛南支部
株式会社村田製作所

第18回 児童・生徒の福祉作文のご紹介



市内・小中学校から提出いただきました社会福祉に関わる優れた作品と、その中でも最優秀賞として城陽市社会福祉大会で発表いただいた2つの作品を紹介いたします。

『自治会に参加して』 深谷小学校5年 松室 庵 さん

ぼくはこの夏休み、自治会で開さいされた夏祭りの準備に参加しました。いつもは遊ぶだけでしたが、今年はお母さんが役員にあっていたからです。

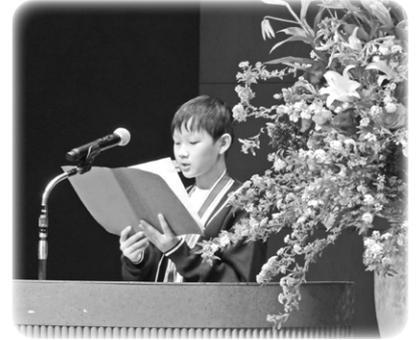
夏祭りの準備は何ヶ月も前から始まります。ぼくは、案内やチケットを配ったりしました。当日は朝からテントを張ったり、つくえやいすを運びました。重くて量がたくさんあってあせが流れ落ちてきました。作業を進めているとおじいちゃんおばあちゃんがたくさんいて若い人があまりいないことに気がきました。ぼくは「力仕事が多いのに大丈夫かな。」と思いました。しかし、自治会の人達は大変そうにしながらも、周りやぼくに声をかけてくれたのです。ぼくはどうして若い人が少ないのかなと不思議に思いました。

お母さんに聞いてみると、「最近若い人があまり自治会に入らないんだよ。」と言っていました。さらにネットなどで調べてみると、全国で高い化が進み、自治会などのご近所付き合いにあまり参加しない若い人が増えていることで、解散する自治会も増えているそうです。

総む省が624市区町村を対象に調査した自治会の加入率は、政令指定都市では2010年度に77.2%だったが、2020年度には70.3%になっています。他の市区町村でも減少傾向で、課題として「役員の高い化」を挙げている自治会が82.8%にもなるというのです。また若い人達が自治会の仕事が大変という理由などで否定的な意見が多いとも書いてありました。

ぼくは少しさみしい気持ちになりました。なぜなら、ぼくは自治会などのご近所付き合いがすてきだと思うからです。確かにお母さんを見ていると、大変そうだなと思うことがたくさんあります。けれども、今回の夏祭りでも案内などを配りに行った時、久しぶりに会ったおばあちゃんがぼくのことを覚えてくれていて、「大きくなったね。」などのやさしい言葉をかけてくれました。準備の時にも重いものを運ぶ時にみんなと同じように声をかけてもらいました。ぼくは自分も自治会の一員になったような気がして準備はたいへんだったけれどうれしかったです。

ぼくは、こんな風にいろいろな人と交流できる自治会はとても良いと思います。なぜなら、いろいろな人と話せることで知らなかった部分を知る事ができたからです。また、たくさんの人に気にかけてもらえているということは安心して生活ができるということだと思っからです。これからぼくも、自治会の人に会ったらあいさつをしたり、コミュニケーションを取っていきたいと思います。そして自治会の行事で手伝えるように参加していきたいと思います。



優秀賞作品の紹介 小学生の部9名 中学生の部4名

「みんなの幸せ」	久津川小学校5年	秋山 侑生
「動物の命も同じ命」	古川小学校6年	中原 有優
「ヘッドネーションをやってみて」	久世小学校6年	小島 諄
「高齢化社会について」	寺田小学校6年	加原 愛瞳
「未来に広がる可能性」	寺田南小学校5年	奥村 ののか
「私の母は社会福祉士 そして私の夢は」	寺田西小学校6年	吉村 咲里
「僕の考える福祉」	今池小学校5年	松田 想大
「おばあちゃんと会話するためには」	富野小学校5年	酒井 煌介
「大好きなじいじ」	青谷小学校5年	片山 颯希
「寄り添うこと」	城陽中学校3年	奥村 楓
「自分らしく生きるとは」	北城陽中学校1年	中村 翔和
「子供の明るい未来のために」	西城陽中学校2年	浦谷 真羽
「色々な人と共存する社会」	南城陽中学校2年	前田 莉玖

最優秀賞・優秀賞の作品はこちらのQRコードよりご覧いただけます。



『同じ「人」であること』 東城陽中学校1年 安道 凛香 さん

「聴覚障がい」それは耳が聞こえないことを意味する言葉だ。去年、社会現象になるほど流行ったあるドラマに「聴覚障がい」を患った青年が登場していた。それを見た私は聴覚障がいや手話に興味を湧いた。聴覚障がいのことを知っていくにつれて私は思った。世間は聴覚障がい者に対して、差別や偏見があるのだ。聴覚障がい者であっても同じ「人」である。だから私はそのようなことが絶対にあってはならないと思う。



聴覚障がいのことを調べていると、あるネットニュースを見つけた。それは「難聴者の方が補聴器ケースを失くし、店員さんに手話で焦りながら会話をしていた。すると、その姿をみていた高校生が、難聴者の方がつけている補聴器に気づき、その方の代わりに店員さんに聞いて回るなどして一緒に探した。」という話だった。その高校生は私と同じドラマを見ていた。そのため「手話で話している」ということが分かり、筆談で話しかけたそうだ。その難聴者の方によると「ドラマが放送されてからこれをきっかけに難聴者に対して理解のある人が増え職場で働きやすくなった。」とドラマが実際の難聴者の方にも良い影響を与えていた。また、「手話に対して興味や関心を持ってくれることで、もっと理解が深まれば良いな。」とも言っていた。私も難聴のことや手話のことを知り、こういう場面にあった時に助けたいと思った。

調べてみると、聴覚障がい者だけではなく様々な障がい者の中で日常生活において、差別や偏見を感じているという人は全体の約六割にもなる、つまり半分以上の人が感じているということだ。実際に差別などを経験している人も少なくはない。また、聴覚障がい者などは見た目だけでは分かりにくいいため誤解されやすい。

私は「耳が聞こえること」が前提の社会があることも差別や偏見が生まれる原因の一つだと思う。例えば緊急時、エレベーターの非常ボタンを押した後、音声でのやり取りが必要になる。それは耳が聞こえない人にとってとても困難なことだ。また、災害時や非常時は駅や空港などの公共機関では「音声アナウンス」が中心となる。その際、聞こえない人は取り残されてしまう。

こういった事を考えると、私は世間が聴覚障がい者、また障がい者全体に対する問題・課題について、もっと深く考えていかないといけないと感じる。

その他にも、障がい者の方に偏見や差別意識、勝手なイメージがあると感じている。障がい者の方に対して「かわいそう。不幸だ。」と言うのは自分の勝手な価値観の押し付けでしかない。障がい者の方でも自分の障がいを受け入れて自分らしく幸せに生きている人もいる。だから「かわいそう。不幸だ。」という言葉は無意識に差別してしまうきっかけになりかねない。その偏見などをなくすためには障がい者の事を「正しく」知ることが大切だと考える。

私たちがすべきことは障がい者の方を特別扱いして線引きすることではなく、そのような人たちが生きやすい社会をつくることではないだろうか。

そして、障がい者だからといってかわいそうなわけでも不幸なわけでもなく、特別なわけでもない。私たちとなにも変わらない同じ「人」でありみんな平等だという考えを持つことが偏見や差別などをなくす大切な一歩なのではないかと思う。

今年度の社会福祉大会は地域福祉がより一層向上することを願い、3部構成で開催し、ようやく一般の方にも参加いただくことができました。

第1部の式典では、城陽市長表彰をはじめ、城陽市社会福祉協議会会長表彰ならびに感謝状等79名の個人と、21の団体が表彰を受賞されました。第2部の第18回児童・生徒の福祉作文コンクール表彰では、最優秀賞に選ばれた生徒さんの表彰・発表を行いました。

また、第3部では大谷大学 社会学部コミュニティデザイン学科 教授 志藤 修史氏をお迎えし「つながる秘訣は持ち寄り型～第6期地域福祉活動計画を踏まえて～」というテーマで講演をしていただきました。



会場には、「あんだんて」による障がい者の手づくり製品の出店販売も賑わいを見せており、「(コロナが収束し)日常が戻ってよかった」という声も多く聞かれ、昨年度からスタートした第6期地域福祉活動計画「つながり つなげる 笑顔のまちづくり」の大切さを実感しました。

多くの皆様のご参加ありがとうございました。



シリーズ城陽市社協ってなに？

住民参加型相互援助サービス事業【ちょい♡サポ】

社協ってなに？シリーズ第4回目としまして、今回は「住民参加型相互援助サービス事業、通称【ちょい♡サポ】」についてご紹介します。

【ちょい♡サポ】とは、日常生活上のちょっとした困りごとや、公的制度では対応できない部分を地域の住民の方々の協力を得て解決する、住民同士の支えあいによる有償ボランティア事業です。

【ちょい♡サポ】のしくみ



① 会 員

利用会員

城陽市に居住する人で、他の福祉制度では対応できない日常生活の軽微な困りごとがある人

協力会員

本事業に対する理解と熱意を有し、日常生活支援サービスに協力できる人

サポート会員

本事業の目的に賛同し、自発的に資金等を援助する人

② 支援内容

- ゴミ出し ● 庭の草むしり ● 話し相手
- 食材及び生活必需品の買い物
- 住居等の掃除・整理整頓 ● 電球の取り換え
- 通院同行 ● 買い物同行 ● 外出同行 ● 散歩の付き添い

※同行及び付き添い時に身体介助は行いません。

- 衣類、寝具の洗濯及び洗濯干し・取り込み ● 食事の準備
- 各種サービスの利用等の手続き支援 ● 緊急物資の支援
- その他必要な支援

※内容は例示であり、協力会員の登録状況によりお受けできないこともあります。

また、専門的な技術や道具が必要な内容にはお応えできません。



③ 料 金

年度会費

区分	年度会費 金額(円)
利用会員	1,000
サポート 会員	(一口あたり) 3,000

※協力会員は年度会費
納入は要しません

利用料

1人30分あたり 利用会員が 30分に払う額	金額(円)	
	平日	休日
昼間 (9:00~17:00)	500	700
早朝 (7:00~9:00)	700	800
夜間 (17:00~19:00)		

活動費(実費弁償)

1人30分あたり 協力会員が 受け取る額	金額(円)	
	平日	休日
昼間 (9:00~17:00)	400	600
早朝 (7:00~9:00)	600	700
夜間 (17:00~19:00)		

- *各会員の申し込み
- *利用についてのご相談
- *その他【ちょい♡サポ】についてなど

お問い合わせは

城陽市社会福祉協議会までご連絡ください!!

TEL:0774-56-0909 FAX:0774-56-2800 MAIL:tiiki@jyoshakyo.or.jp

協力会員に
なってくださる方
大募集中です!



令和5年度 団体法人会員のご紹介(社協会員)

3月1日現在
敬称略・市内外及び受付順

多くの企業様や団体様、法人様のご加入ありがとうございました。今年度もよろしくお願いいたします。

★特別会員 10,000円/1口

(株)セレマ城陽シティホール(15,000円 特別1口+賛助1口) タケダ印刷(株)(15,000円 特別1口+賛助1口)
 きらっと介護支援センター (株)ノア デイサービスはる 沼眼科 酒井クリニック (株)ピーマックス
 (有)アリムラ塗装店 (有)山田商店 (株)杜若園芸 安見内科医院 坂本工建(株) (医)白枝眼科
 藤原クリニック 東本建設株式会社 京都きづ川病院 岡田診療所 城南綜建(株) (特非)で・らいと
 (株)cocomo.cube 宮谷自動車工業(株) サントリープロダクツ(株)宇治川工場 (学)城陽学園佐伯幼稚園
 (株)おうすの里 (株)メディケア・リハビリ ハートケア城陽 (株)セレクト 近畿オート(株) (同)こころ 城陽金融会
 野間ガスサービス(株) ユニック(株) (株)ダスキン山城 城陽薬剤師会 京都城陽ロータリークラブ 城陽商工会議所

★賛助会員 5,000円/1口

(株)平山宅建 (有)東洋理化 小倉山荘宇治城陽店 土地家屋調査士秋田事務所 あかま介護タクシー
 (株)ハヤシ住宅設備 (特非)ゆう・さぽーと 樹ハウジング (株)もりた園 (株)城南工建 茶舗 城洋園
 浦壁歯科医院 おくむら眼科クリニック 京都郵便局 (有)有田三翠園 とくだ小児科内科 鎌田クリニック
 小西歯科医院 なかむら眼科クリニック 慈椿堂薬局 (株)サンエイ 京佛壇誠心堂 関西畳工業(株)
 (医)ほりうち医院 (有)城陽葬祭杉村 YOUSHOOPむらかみ (有)原口クッキングスタジオ (有)山田仏具店
 山吉漆紙工業(有) (医)コクラ医院 シャフテックツチハシ(株) 京都八百忠 オクダモーターサイクル
 フラワーズ山咲 (株)京滋エージェンシー辻野 旭日商事(株) (有)オオタムセン ジクヤ電化 (有)ハタナカ事務用品
 いけや整形外科医院 城陽市公認上下水道協同組合 (株)大円 (株)大興設備開発 東洋濾水機(株)
 (株)ウィングスマルコー 明正化工(株) ロッド通信工業(株) 竹口電気設備管理事務所
 パナソニックエイジフリーショップ京都南店 (株)成研 光洋(株) (株)フロンティア京田辺営業所 (株)サンてらす
 (一社)宇治久世医師会 (株)愛安住 京都営業所

陽太くんの似顔絵募集

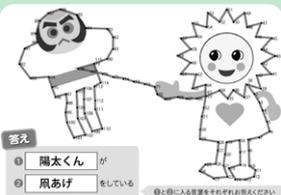
城陽市社協のマスコットキャラクター「陽太くん」の似顔絵を募集します。服装、表情等、自由な陽太くんを用紙(用紙サイズは自由)に描いてください(色鉛筆、クレヨン、絵の具、デジタルイラスト等画材の種類は問いません)

応募作品は、5月15日(水)～5月22日(水)まで福祉センターにて来場者の方に投票をしてもらい、選ばれた5名の方に景品をお届けいたします。お子様から年配の方まで多くのご参加及び作品の投票をお待ちしています。(選ばれた方は次回社協だよりにて発表します)なお、応募いただいたイラストは市社協や、校区社協の啓発活動に使用させていただきます。

応募方法 ハガキや封書での郵送、メール(tiiki@jyoshakyo.or.jp)、福祉センター窓口及び各老人福祉センターへの直接持参(ハガキでなくても可)、裏面に ①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④年代(任意) ⑤今回号の記事へのご意見を記入頂きご応募ください。

郵送先 〒610-0121 城陽市寺田東ノ口17 城陽市社会福祉協議会
社協だより「陽太くん似顔絵」係 まで

締め切り 令和6年5月7日(火)※当日消印有効



前号(146号)線つなぎクイズの答え

前号の「線つなぎクイズ」の答えは「①陽太くん」が「②凧(たこ)あげ」をしているでした。69通もの応募をいただき「ボランティアに興味を持ちました」「城陽サマースクールの終了はさみしいです」等のお声をいただくことができました。応募いただいた皆様ありがとうございました。

本会へのご寄付ありがとうございました

- 城陽市立南部コミュニティセンター
運営委員会 25,200円
- 海世 良一 10,000円

(R5.12.16～R6.2.29現在)【敬称略】

ご寄付いただきました寄付金は地域福祉活動の推進および地域の防災活動のために活用させていただきます。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

